

けいせん 議会だより

平成26年度 決算6会計を認定

平成27年第4回定例会に上程されました一般会計・特別会計(4)・水道事業会計の6会計の決算の認定について、一般会計・特別会計決算審査特別委員会、水道事業会計決算審査特別委員会を設置し、審査を付託しました。18日の本会議で採決を行った結果、次のおり決算審査報告書を付け、認定することに決定しました。

一般会計・特別会計 決算審査結果報告

決算審査特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 藤川 正恭 |
| 副委員長 | 下川 康弘 |
| 委員 | 竹本 慶吉 |
| 委員 | 林 英明 |
| 委員 | 吉川 紀代子 |

9月8日から10日までの3日間、付託された一般会計・特別会計の平成26年度決算について審査を行いました。

水道事業会計 決算審査結果報告

決算審査特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 竹本 慶吉 |
| 副委員長 | 大塚 和佳 |
| 委員 | 青柳 久善 |
| 委員 | 北原 裕丈 |

9月11日と14日の2日間、付託されました水道事業会計の平成26年度決算について審査を行いました。
【水道事業会計の経営状況について】
平成26年度年間排水量は、1,46



▲井上町長あいさつ



▲原中議長あいさつ



▲水道事業会計決算審査



▲一般会計・特別会計決算審査

財政状況については、普通会計の実質収支額は、201,552千円の黒字で、実質収支比率は61%となり、望ましい水準を維持しています。また、基金積立等を勘案した実質単年度収支は、175,682千円の黒字です。よって、歳入歳出に係る財政状況は、安定していると言えます。

一方、前年度は改善に転じていた経常収支比率が94.6%と、前年度に比べて20ポイント悪化したため、今後の行財政運営に注意を要すると考えます。

しかし、鉾書復旧かんがい排水施設維持管理基金から一般会計への繰

入金について、今年度も1億円の臨時繰り戻しを実施し、当初予定されていた平成32年度繰り戻し完了を平成27年度に前倒しするなど財政健全化に向けた努力には一定の評価を表します。

【一般会計決算について】
1、歳入
町税は、前年度より24,143千円増加していますが、更なる自主財源の



監査員 杉村 明彦 代表監査員 武井 秀樹

【剰余金処分について】

平成26年度の当年度未処分利益剰余金305,187千円は、232,753千円を資本金へと組み入れを行い、減債積立金5,000千円、建設改良積立金30,000千円として処分を行い、翌年度の繰越利益剰余金を37,434千円とすることに。については、原案のとおり承認をしました。

【未収金解消の取り組みについて】

本年度の決算では、未収金の解消に向け、適切な取り組みの成果として、水道料金の収納率は、過去10年間で最も良好な成績を示しています。

【むすび】

水は生命の源であり、町民の生活に欠かすことのできないものです。水道事業は安全、安心な水を町民に安定供給する使命があります。

現在、水道施設の老朽化に伴う大幅な改善計画が進められていますが、水源確保をはじめ、施設・設備について長期的な展望を考慮し、十分な設計をされることを希望します。

確保に努めてください。

滞納問題については、町税等を中心に法的措置など前向きな取り組みが進められており、着実にその成果が現れています。また、不納欠損については、法令等に則り適正に処理されていると認めます。

2、歳出

平成26年度は子ども医療費の助成対象年齢の拡大や町営住宅建替構想の策定など、将来に向けた住民福祉に資する施策に努められたところですが、今後も創意工夫を加えた行財政改革を継続し、特に経常経費の抑制に尽力してください。

一般質問



林 英明議員

登下校時の児童の安全確保について

問 土師二交番横の横断歩道設置工事の工期が、守れなかったのはなぜか。

答(原中建設事業課長) 業者に対する工程管理指導が、充分でなかった事と、業者が充分な対応を行わなかった事。

問 一般質問までして言いたいのは、工程が遅れた事ではなく、工程が遅れた事によって、児童の安全が危ういものであったという事だ。児童の通学路安全確保のための工事なので、夏休み中に完了すべきで、児童に対して安全第一であるべきだ。今後、このような事をなくすためには、どんな対策を講じるか。

答(課長) 工程管理及び安全管理の指導強化を行う。

地方創生4つの柱について

問 桂川町の地方創生総合戦略4つの柱とは。

答(山辺企画財政課長) ①駅周辺開発・定住促進に関する分野 ②教育に関する分野 ③産業に関する分野 ④王塚プロジェクト分野 以上4点。

求した時、町長は福岡県の動向を勘案しながら検討すると回答されたが、県の子ども医療費拡充の動向はどうだったのか、助成について具体的な話は来ているのか。

答(井上町長) 9月8日に開催された県の乳幼児医療費支給制度に係る説明では、医療費支給の対象年齢を入院通院とも、現行「就学前」から「小学6年生まで」に引き上げ、補助率は現行どおり2分の1で改正時期は平成28年10月に予定している、などがあつた。

問 嘉麻市では市長の決断で来年1月から独自に中学3年まで実施するとしている。子育て世代を応援する医療費の助成は少子化や人口の減少に歯止めをかける重要な制度ではないか。平成28年まで待たずに町独自に拡充をやるうとは考えないのか。

答(町長) 県の改正案を受け、本町においても今後具体的に検討する必要があると考えている。

買い物難民対策について

問 「買い物に困っているのでは何かしてほしい」と多くの町民から声が寄せられている。切実な町民の声をどのように受け止めているのか。住民のために作られた福祉バスが住民の要求とマッチしていないと思うがその要因が何かをよく調べ、現在の制度とは別に、町外でも運行できる制度を作るべきと思うが、町長の見解を伺いたい。

答(井上町長) 具体的に聞いているのは、済生会病院までの路線の延長を希望する内容で、課題の内容や解決方法の有無などについて関係機関に働きかけをしていきたい。町民の皆さんの要望にはできるだけ応えていくことが行政の責務だと考えている。

9月定例会で次の議員が一般質問しました。
議員が町の行財政全般について執行部に説明を問うものです。
紙面の都合により、一般質問の内容を要約して記載しています。

問 西日本新聞8月21日版「地方創生、競争より連携」という記事あり。飯塚市長は、2市1町は、いろんな事で協力すべきと考えてあるし、嘉麻市長も、駅周辺開発や他の面で協力したいと明言されている。町長の考えは。

答(井上町長) 近隣自治体との連携は、地方創生に限らず、重要な施策だと思う。定住自立圏構想についても、飯塚市・嘉麻市との事務打ち合わせ会議を、平成25年度から実施している。今後継続していきたい。

地方創生人口ビジョン(健康)について

問 テレビ番組で、インナーマッスルをきたえるスポーツ吹き矢というのを紹介していた。長さ1m超の筒に矢を込め6〜15m先の的に放って得点を競うものだ。気功と吹き矢の融合で健康増進を目的に考案された。骨盤底筋群や横隔膜がきたえられ尿失禁の改善や誤嚥性肺炎の予防に良いそう。このスポーツ吹き矢についての検討は。

答(井上町長) 本町のスポーツ推進委員会の協力を得ながら、ニースポーツとして検討したい。

地方創生人口ビジョン(観光・王塚プロジェクト分野)について

問 桂川町には、桂川町の明日を創る会という、若くて優秀な方々がおられる。夏まつり桂川、古代の謎

台風15号の時の自主避難者へのサポートについて

問 台風15号で住民センターに自主避難をされた方が「寒いので毛布を貸してください」と言ったら「ありません」と言われたそうだ。その件についての報告はあつたのか。

答(三削総務課長) 自主的に避難をされる住民の自主避難場所として住民センターを開設した。今回は、自主避難所としての開設のため避難者が、飲食物や寝具類の準備をして避難されて来た。なお、避難者の中で寒い方がおられたので、毛布50枚、寝袋20個を購入した。



大塚和佳議員

役場職員の防災への危機管理について

問 全職員に職員防災マニュアルを配布してあるか。また、役場庁舎での避難訓練は、毎年実施されているか。

答(井上町長) 職員に対して、「桂川町災害時・職員行動マニュアル」を作成しており、迅速・的確に対応したい。また、昨年11月に防災訓練を実施した。

問 地震や台風等の災害を想定した訓練計画や、重要水防警戒区域の場所の周知を図る必要性があるのではないか。

答(町長) 各課職員への周知を図っているが、今後

フェスティバル、それにイルミネーション飾りなど、ボランティア活動をされている。この方達に、王塚プロジェクトはもちろんだ方創生全般について知恵を借りては。

答(山辺企画財政課長) 4本柱の一つ「駅周辺開発定住促進分野」の会議に参加して頂いている。

問 西日本新聞「ゆずぎしよ」から、「地域の宝を生かすには計画を作る職員が、魅力を理解し楽しむ事が欠かせない。そのために提案したいのが、職員を中心とした有志グループの設立だ。役所が変われば地域は変わる。地方創生を機に、地域の宝を磨く有志が立ち上がる事を望む。」

答(課長) 事業に関わる全ての関係者の思いや情熱が、地域の持っている様々な可能性を輝かせる事のできる大きな力だと考える。今後もこの思いを大切にして、地方創生を皆で力を合わせて進めていきたい。



吉川紀代子議員

子ども医療費の拡充について

問 昨年12月議会で子ども医療費無料の拡充を要

更なる充実が必要であると思っている。

待機児童問題に関する幼稚園としての考えについて

問 6月の一般質問で、幼稚園の保護者あてにアンケートを取ると教育長から回答があつたが、その後どのような取組みをされたか。

答(瓜生教育長) 8月21日に保護者会役員会を、9月9日に保護者会を実施。保護者会等の意見を踏まえ、10月に実施する預かり保育の試行の意向を含めアンケート調査を行う予定。

問 「幼稚園は夏休みや冬休み等長期の休みがあるため、行かせることが出来ない。」保護者も仕事をすることが出来ない。」等の意見がある。夏休み中の保育は出来ないか。

答(教育長) 夏休み中における教育活動の策定や指導体制、施設・設備の整備などを検討し、料金を含めて保育所との整合性を図っていく必要があるのでは、今後、条件整備を検討していく。

子育てのアンケートについて

問 事業計画を立てる時だけにアンケートを取るのではなく、4ヶ月健診や7ヶ月健診時等で、保護者の意向を聞くことはできないか。そのことが、桂川町に住みたいと思ってもらえる啓発になり、子どもに優しい桂川町にもなると考えるが、どうか。

答(井上町長) 健診業務に支障がなければ、実施のための検討は可能と思う。



9月定例会で審議された結果



【議案】	件名	付託委員会審査結果	審議結果
議案第27号	町道路線の廃止	総務経済建設委員会	【可決】 全員賛成
議案第28号	桂川町特定個人情報保護条例の制定	総務経済建設委員会	【可決】 賛成多数
議案第29号	桂川町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定	総務経済建設委員会	【可決】 賛成多数
議案第30号	桂川町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定	総務経済建設委員会	【可決】 賛成多数
議案第31号	平成27年度桂川町一般会計補正予算(第3号)	総務経済建設委員会 文教厚生委員会	【可決】 賛成多数
議案第32号	平成27年度桂川町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	総務経済建設委員会	【可決】 全員賛成
議案第33号	平成27年度桂川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	文教厚生委員会	【可決】 全員賛成
議案第34号	平成27年度桂川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	文教厚生委員会	【可決】 全員賛成
議案第35号	平成27年度桂川町水道事業会計補正予算(第1号)	総務経済建設委員会	【可決】 全員賛成
認定第1号	平成26年度桂川町一般会計歳入歳出決算の認定	一般会計・特別会計 決算審査特別委員会 (審査結果報告書提出)	【認定】 賛成多数
認定第2号	平成26年度桂川町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定		【認定】 賛成多数
認定第3号	平成26年度桂川町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定		【認定】 全員賛成
認定第4号	平成26年度桂川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定		【認定】 賛成多数
認定第5号	平成26年度桂川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定		【認定】 賛成多数
認定第6号	平成26年度桂川町水道事業会計利益の処分及び決算の認定	水道事業会計 決算審査特別委員会 (審査結果報告書提出)	【認定】 全員賛成
報告第4号	健全化判断比率の報告	—	【報告】
報告第5号	資金不足比率の報告	—	【報告】
【追加議案】			
意見書案第2号	地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書(案)	—	【可決】 全員賛成
意見書案第3号	安全保障関連法案の制定に反対する意見書(案)	—	【可決】 賛成多数

つぶやき

スポーツの秋という事で、10月11日(日)に、第14回ときめきウォークin(けいせん)に参加しました。5km、10km、20kmに、町内外より131名の登録があり、熊本・北九州からの参加者もおられました。

ちようど疲れてきた8km弱の所に、毎年、土師二ソフトボールクラブの方達が、ボランティアで、お茶・あんぱん・ゆで玉子等々で、参加者のみなさんにおもてなしをして下さいます。参加者の中には、「急いでいかなとゆで玉子がなくなるよ!!」と話しながら歩いている方もおられました(笑)。

筑波大学は、住民一人あたりの日常歩数が1日に2,000歩増加すると、一人あたりの年間医療費が45,000円抑制されるという試算を出しています。

来年は健康づくり・医療費抑制のため、是非参加してみませんか。

下川 康弘

待機児童の解消について

問 待機児童数とその対策について

答(大屋子育て支援課長) 吉隈保育所の定員増は、改修工事後に県へ報告すればできる。

問 本町の幼保連携型認定子ども園の制度と近隣市町の状況について知りたい。

答(課長) 飯塚市、小竹町、宮若市が実施している。

問 幼稚園を幼保連携型認定子ども園に移行することはできないか。

答(井上町長) 本町の実情に基づいた現実的な対応を検討していく。

子育て支援課について

問 国や町にとって大切な事業として位置付けている子育て支援事業で、本年度は新規採用職員を配置されているが、順調に仕事が進んでいるか。

答(井上町長) 状況の把握及び対策について積極的に取り組んでいく。



杉村明彦議員

集団検診について

問 胃がんのリスクを下げるためにピロリ菌検査を集団検診で実施してはどうか。

答(井上町長) 現在、桂川町で実施している胃がん検診は、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づき胃部X線検査、いわゆる胃の透視、バリウム検査を実施しており、胃部X線検査は有効性評価に基づく胃がん検診ガイドラインにも、死亡率減少効果があることから住民検診型として、国及び国立がん研究センターが推奨している。指摘のピロリ菌検査については、検診の効果は大きいと考えられるが、国は現在のところ集団検診として実施することは推奨していない。桂川町としては、まず現行の胃部X線検査の受診率の向上をめざしたいと考えている。

コミュニティバスの運行について

問 現在桂川駅に乗り入れをしている飯塚市のコミュニティバスは、旧筑穂町を經由し、桂川駅から、済生会病院・コメリ飯塚店・市立病院・イオン穂波店と町民の皆さまが行きたいところすべてに停まっている。桂川駅まで行けば誰でも乗ることができるが、桂川町の福祉バスとは時間が合わず困難だ。そこで桂川町役場を經由出来るように飯塚市と連携をとってみたいと思う。

負担金を求められると思うが、初期投資がほとんどかからないので検討出来るのでは。嘉麻市のバスも同じく桂川町を通っているのに総合高校と桂川駅にしか停まっていない。そこで桂川町が嘉麻市と飯塚市の中継地点になれば交通の不便さが解消されるのでは。町長の考えを問う。

答(井上町長) 飯塚市のコミュニティバスは桂川町の人も利用可能であり、桂川駅前乗車・下車ができる。ご提案の桂川町役場までの路線の延長について

では、飯塚市の了承が必要になるが同意を得られるかは不明で、今後、協議・検討をしたいと考えている。



竹本慶吉議員

小中学生の学力向上について

問 最近各種会合の場で、桂川小中学校の学力が向上しているとの話題が多い。最近の学力テストの結果はどうであったか。また、今後、学力の維持向上にどのような対策を考えているか。

答(瓜生教育長) 近年学力が向上している傾向にある。特に小学六年生では、全国平均点を上回る教科もあり、今後も維持向上させるよう対策を講じていく。

社会福祉士の配置について

問 障がい者をはじめ、社会福祉対策に有効な各種補助、助成制度があるが、原則、自己申請である。有効なアドバイスを得るため、専門職である社会福祉士の配置をお願いしたい。

答(江藤健康福祉課長) 高齢者の支援窓口の地域包括支援センターに社会福祉士を1名配置している。障がい者の支援では、社会福祉士を含む専門職を配置している相談支援事業所を2市1町で委託運営している。